

心臓(冠動脈)造影CT検査のチェックシート 副作用の説明と同意書

患者名前 _____

年齢(歳) _____ 歳

御施設名 _____

右項目が1つでもあれば、当院循環器外来受診の上で検査実施可能かどうかを検討させていただきます。

ヨード造影剤の投与 に関して	血性クレアチニン (mg/dl)	1.0未満	1.1以上
	eGFR (ml/min.)	50以上	50以下
	アレルギー歴	なし	あり
βブロッカー投与 に関して	通常の脈拍 (回/分)	60以上	60以下
	気管支喘息	なし	あり
ニトロペン投与に関して	大動脈弁狭窄症 僧帽弁狭窄症 の既往	なし	あり
放射線被曝に関して	年齢	50歳以上	男性(45歳未満)、女性(50歳未満)
検査の御理解	被検者御本人の同意書	あり	なし

<検査時にヨード造影剤以外で使用する薬剤>

- βブロッカー(インテラル、コアペータ):検査時の脈拍が60回/分以上の方に投与します。(※喘息がある方は禁忌)
- ニトロペン:撮影前に投与します。(※重症大動脈弁狭窄症、重症僧帽弁狭窄症の方は禁忌)

副作用の説明と同意書

心臓造影CTは、撮影5秒以内で心臓を栄養している冠動脈が描出でき、非常に有用な情報を与えてくれます。しかし、頻度は多くはありませんが、下記の通りの検査に伴う副作用があります。御理解の上で検査を受けて頂ければと思います。

- ヨード造影剤アレルギー:アレルギー歴がなければ約3%に出現します。発疹、痒み、嘔吐等があります。命に関わるような重症な症状は0.03~0.2%。
- ヨード造影剤に伴う腎障害:高齢、糖尿病、既存の腎障害、脱水を有すると3~5%に腎障害が発症 (Kidney Int Suppl. 2006年)
- 脈拍を落ち着かせる薬剤(βブロッカー)による喘息発作:0.1%前後 (市販後調査より)
- 放射線被曝量: 1~3mSv と胸部レントゲン数枚から15枚程 (the CORE320 study Eur Heart J 2013年)

西暦 _____年____月____日

検査被検者の御署名 _____

説明医師の御署名 _____